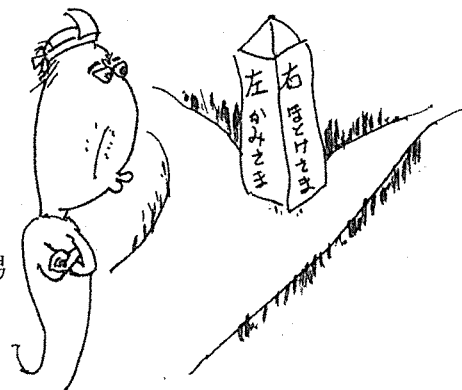


# 自然葬を考える市民の集いを 仙台で お誘いあわせてどうぞ

今年の講師は**酒井卯作さん**（本会理事）

酒井さんは民俗学の創始者柳田國男の手ほどきを受けた数少ない直弟子のひとりで、柳田がつくった（財）民俗学研究所の研究者を経てパリ大学人類学博物館勤務、法政大学講師など。『柳田國男と琉球——「南海小記」を読む』など著作多数、1925年生まれ。



『再生』第76号から転載

日 時 2011年10月15日（土）

午後1時30分より4時まで

会 場 仙台市シルバーセンター 7F 第一研修室

（仙台市青葉区花京院 1-3-2 電話 022-215-3191）

参加費 500円（当日会場で受付けます）

## 【プログラム】

◆あいさつ「東北での自然葬の現状について」阿部みちよ

◆講演「生と死の民俗学——悲しみを克服するために」

講師・酒井卯作さん（トルストイは「復活」という小説の中で、帝王の死も庶民の死も、みんな同じだと述べています。生物としての人間を見ればそのとおりですが、日本人の死を見るとそうはいきません。幼児の死、成人の死、事故者の死、老人の死などいろいろあります。そのいろいろの死に方に対して、対応の仕方いろいろです。死は悲劇ですが、それを乗り越えるために、どう対応したか、そのいろいろの作法について考えてみようと思います。……講師から）

◆質疑応答 質問やご意見をお受けします

主催 NPO法人 葬送の自由をすすめる会東北支部

連絡先 阿部みちよ TEL&FAX022-285-5045